（別添資料１）

事業所名　オレンジベース　放課後等ディサービス

支援プログラム

作成日　令和7 年 9 月 25 日

法人（事業所）理念		私たちは療育を通じて、子供たちの健康で笑顔のある豊かな生活に貢献します。			
支援方針		「自分らしく羽ばたく、未来への”土台”」大切な時期、心の拠り所となる場所。オレンジベースは、自立への一歩を応援する”学びと体験の拠点”です。 日常生活の力をつけたり、進路について考えたり、自分のペースで未来を描くサポートをしていきます。			
営業時間		10 時 0 分から 19 時 0 分まで	送迎実施の有無	（あり） なし	
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	来所時の検温、お迎えに行った時、来所時の表情や話し方を感じ取り、その日の心と体の状態を把握し安心できる声掛けを行っていきます。来所時から、始まりの会までに身辺整理を自分で行えるように支援していきます。 手洗い、うがいは必ず行い、感染症予防等に関心が持てるよう支援していきます。食事のマナーや姿勢なども身に付けられるようにしていきます。 宿題や今日行うことのスケジュール管理を先生と一緒に確認するところから始め、将来的に自分でスケジュール管理ができるようにサポートしていきます。			
	運動・感覚	無理なく行える体力トレーニング、体幹トレーニングを行います。体を動かすことにより、ストレス解消、ストレス発散ができることを学んでいきます。 ビジョントレーニングを行い、集中力、視覚認知力、空間認知を高め、日常生活や運動スキルが身につけられるに支援していきます。 季節に適した衣服の選択や汗をかいた時の衣服調節など自発的に行えるように支援していきます。			
	認知・行動	学校の宿題、課題の学習面でのサポートをしていきます。課題提出期日を守る、学校からの連絡を保護者に伝える、など忘れずに伝える事の大切さを習得できるように支援していきます。 個々のできること、苦手なことを十分に把握しサポートしていきます。 一人一人の感じ方・考え方に寄り添い、行動・感情・身体反応との関係を理解・整理しながら、考え方・行動の選択ができるようにロールプレイ・記録・振り返りを行い、練習していきます。			
	言語 コミュニケーション	他者との適切なやり取り（双方向性）を絵カードやフローチャートで学んでいきます。 社会的なルールやマナーの理解が向上できるように支援していきます。 楽しみながらできる活動プログラムの中で、感情のコントロールと自己表現の仕方を促せるようにトレーニングしていきます。 グループ活動や集団活動のなかで協調性の向上が出来るように支援していきます。 相手に誤解されずに、自分の気持ちや考えを伝える言葉が増やせるように語彙力、表現力のストックを増やせるようにサポートしていきます。			
	人間関係 社会性	自己理解と他者理解を深められるように、相手の立場や気持ちを想像する力をディスカッションや集団活動のなかで促していきます。適切な自己表現、断り方、助けの求め方を学んでいきます。一人一人にしっかり寄り添いながら個々の強みを見つけていき、できる、できない、ではなく自分を好きでいられる心の土台を作ることができるように支援していきます。 安心して過ごせる場所、ここなら大丈夫、失敗しても大丈夫と思える環境を整え、自分を信じる力に繋げられるように楽しみながら経験を積んでいきます。 オレンジベースでの経験が社会に出たときに役に立った！と思えるような実践的なプログラムを提供していきます。			
家族支援		送迎希望がある場合は送迎を行います。自分でこれる利用者に対しては安全面を保護者様と確認していき、到着確認をしていきます。 相談、関係機関との連携を行っていきます。 公認心理士による面談	移行支援	安心して次へと進めるように進路状況の提供、面談、相談を行っていきます。 生活の変化に向けた準備、新しい環境で必要なスキルを身に着けて行けるように支援していきます。	
地域支援・地域連携		相談支援事業所との連携、担当者会議への参加 他事業所との連携、情報共有 学校との連携、情報共有 地域交流	職員の質の向上	定期的な内部研修、外部研修への参加 理念や目的の共有、日常の振り返りと対話、継続的な学びの場づくり、職員の強みを活かす仕組み、安心して働ける環境づくりの中で職員の質が向上できるように励んでまいります。	
主な行事等		クッキング・みかん狩り・遠足・法人が運営するレストランでのお食事会・公共交通機関を使ってのお出かけ・絵画、制作活動・室内運動室での運動			